

5 自分たちができることを計画して実践しよう

<SDGsの視点で考えよう>



地球温暖化を防ぐための取り組みは、他の地球規模の課題の解決にもつながるかもしれません。そこで、各自が取り組んだ結果を学級で共有したら、次は、グループを作って、各自の取り組みによって、地球温暖化の他にも波及効果がないか、SDGsの視点から話し合ってみましょう。

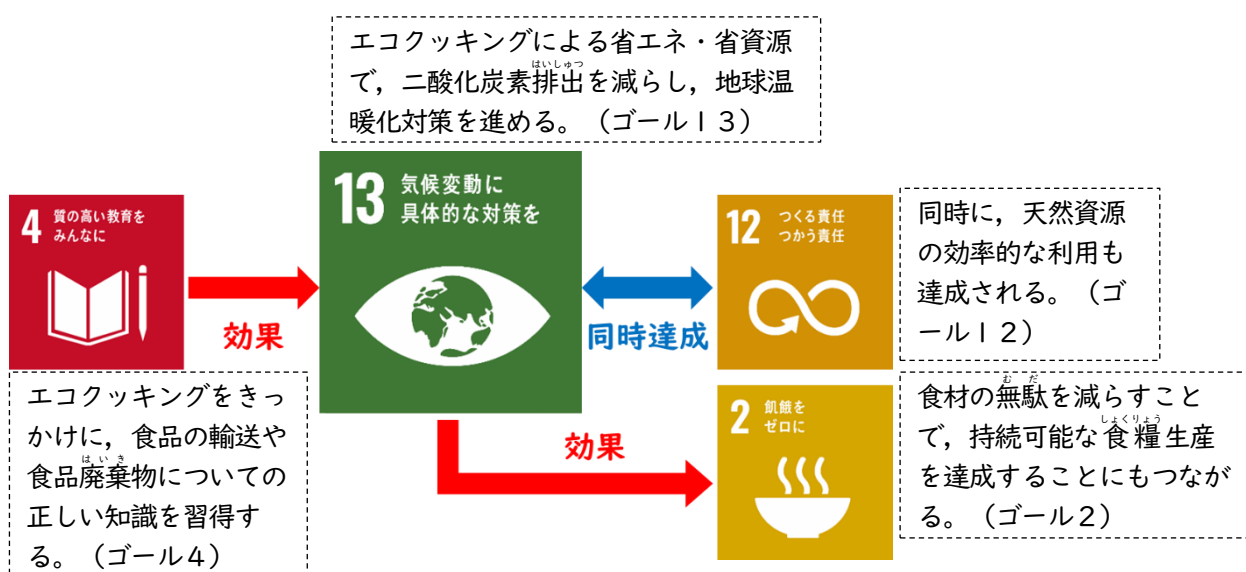
(話し合いのポイント)

自分の考えを整理したり、他人に分かりやすく伝えたりするため、SDGsゴール関連図をつくってみましょう。

- ① グループの中で、各自が取り組んだ実践から一つを選び、地球温暖化対策への効果や、その他の波及効果について、SDGsの視点から考えよう。
- ② グループで、「SDGsゴール関連図」を模造紙やプレゼンテーションソフトで作成し、掲示したり、発表したりして、気づいたことをみんなで共有しよう。

※SDGsゴール関連図の作り方は、次ページに示します。

■ SDGsゴール関連図の例「エコクッキングに挑戦しよう」





<SDGsゴール関連図をつくってみよう>

「エコクッキングに挑戦しよう（20ページ）」を例にして、SDGsゴール関連図をつくってみよう。

1) 直接的に目指すゴールを、中心に大きく配置する。



エコクッキングによる省エネ・省資源で、二酸化炭素排出を減らし、地球温暖化対策を進める。（ゴール13）

【SDGsのゴールとターゲット】

SDGsの17のゴール（目標）には、より具体的なターゲットがそれぞれ設定されており、全部で169のターゲットがあります。

2) 中心のゴールと関連が深いゴールを考え、まわりに配置する。



エコクッキングをきっかけに、食品の輸送や食品廃棄物についての正しい知識を習得する。（ゴール4）

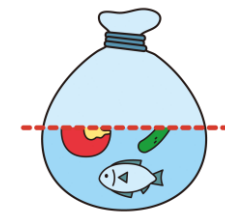


同時に、天然資源の効率的な利用も達成される。（ゴール12）

【ターゲットの例】

「ゴール12. 持続可能な生産消費形態を確保する」のターゲットの一つには、「2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」が設定されています。

3) 矢印や両矢印により、中心的なゴールとの関連を表現する。



4) 他に効果のあるゴールも考えて、配置する。



食材の無駄を減らすことで、持続可能な食糧生産を達成することにつながる。（ゴール2）



詳しくは、国連広報センターウェブサイトへ。